



駅から歩く、峡東地域世界農業遺産 ～なぜ、この土地に果樹農業が生まれたのか～

駅を降りた瞬間から、世界農業遺産の旅が始まります。

なぜ、この土地には一面のぶどう畑や桃畑が広がっているのでしょうか。

なぜ、ぶどうは棚で育てられているのでしょうか。

果樹を育てる水は、どこから来るのでしょうか。

そして、なぜ峡東地域にぶどうや桃の産地、ワイン産業が生まれたのでしょうか。

答えは、博物館の中だけにあるものではありません。

山の形、扇状地、川や堰、ぶどう畑や桃畑、寺社仏閣、鉄道、ワイナリー、そしてそこで暮らす人々……。

地域を歩いてみると、一見別々に見えていたものが、少しずつつながって見えてきます。

地元のナビゲーターと一緒に歩きながら、「なぜ？」を一つずつ解き明かしていく約3時間。

■日程

①2026.12.6（日）甲州市 9:00 JR勝沼ぶどう郷駅〔集合〕

「ぶどうの里は、なぜここに生まれた？」～なぜ勝沼は、日本を代表するぶどうとワインの里になったのか～

②2027.1.24（日）山梨市 9:05 JR東山梨駅〔集合〕

「水と扇状地がつくった果樹のまち」～水はどこから来て、果樹の里をつくったのか～

③2027.2.14（日）笛吹市 9:15 JR春日居町駅〔集合〕

「桃畑の向こうに見える、土地と暮らし」～なぜ、この場所が桃の一大産地になったのか～

ナビゲーター：峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザー 中村正樹

主催：峡東地域世界農業遺産推進協議会



詳細・お申し込み

<https://winetourism.shop-pro.jp/?mode=cate&cbid=2582635&csid=3>

